



*The Uehiro Academy for Moral Education*

# 上廣道徳教育 アカデミー

道徳教育を、学ぶ・究める・創る!

—ワクワクする魅力的な道徳科授業のために—

# ごあいさつ



兵庫教育大学は、教育基本法の精神に則り、学校教育に係る諸科学の理論と応用に関する研究を総合的に推進し、社会の発展に資する創造的知性と人間愛に支えられた教員を育成し、もって教育、学術、文化の進展に寄与することを目的として設置された大学です。そのため本学は「教師教育のトップランナー」、「学生の持てる力を最大限に引き出す大学」、「成長し続ける大学」をビジョンとして掲げ、そうあることを目指しております。

また、本学は令和4年以来、文部科学大臣によって「教員養成フラッグシップ大学」の指定を受けています。そして「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくための牽引役を果たすことが期待されています。

以上の目的を達成しビジョンを実現し期待に応えるための活動の一環として、本学は令和5年4月1日、教員養成・研修高度化センターに「道德教育研究開発センター」を設置し、その実践・研究部門として、公益財団法人上廣倫理財団からの寄附による「上廣道德教育アカデミー」を開設いたしました。

開設以来、第1期の2か年、第2期の1か年と計3年が経過し、その間、アカデミーは本学の「現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成」、「教師教育の先導的モデルの構築」、「教育研究成果の国内外への発信」などのミッション遂行の一端を担っております。これもひとえに県内外の関係者の皆様のご理解ご支援の賜物であり、厚くお礼を申し上げる次第でございます。

アカデミーの開設4年目、第2期の2年目を迎えるにあたり、本学「上廣道德教育アカデミー」をこれまでと同様にご支援・ご活用くださるようお願い申し上げます

令和8年4月 兵庫教育大学長 森山 潤



兵庫教育大学上廣道德教育アカデミー開設の目的は、学校における道德教育の推進・充実と、それらを担う教員の資質能力向上の支援とにあります。これらの目的を達成するため主に次のような活動を行っています。

- (1) 兵庫県内及び西日本各地での教員研修の支援と、学校や教員への研修・啓発機会の提供
- (2) 道德科等における実践・研修に関するアーカイブの構築・運営
- (3) 道德教育に関する研究や教材開発

その結果として、本学アカデミーが道德教育に関する「教師力育成を支援する拠点」となることを所員一同願っております。そこで求められる教師力は、単なる知識や技術を伝達するだけに留まらず、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基盤に、一人ひとりの児童生徒に真摯に向き合い、共に成長していこうとする教師としての在り方や生き方も含む基盤的かつ総合的な力のことと捉えています。

なお、公益財団法人上廣倫理財団は、広義の倫理の教育とその研究振興を目的として昭和62年に財団法人として設立され、平成25年に公益法人認定を受けた教育振興財団です。表現教育、道德教育、社会文化、学術助成及び国際交流の分野で各種事業を展開し、国内外の教育機関に助成を行っています。国内では本学のほかに東京大学、京都大学、東北大学、宮城教育大学、上越教育大学、東京学芸大学、広島大学、新潟大学などが財団の寄附により講座を開設・運営しています。こうした学術振興助成は「広義の倫理」「より善く生きるための知恵や実践」「中立的視点」の3つのキーワードを念頭に置き、社会との連携や交流、還元を行っている研究者等を支援することを目的に実施されています。

兵庫教育大学 上廣道德教育アカデミー所長 谷田 増幸

道徳教育を、  
学ぶ・究める・創る！

# アカデミーの 活動予定と特色

教師力育成を支援する拠点

道徳教育研修・研究におけるフラッグシップセンター



## 01 兵庫県内及び西日本各地での 教員研修の支援と、学校や教員への 研修・啓発機会の提供

### アカデミーの所員を講師として派遣

- ・道徳教育に関する教育委員会単位の研修や校内研修への講師派遣
- ・道徳教育に関する研究会や研究授業についての事前相談・助言
- ・道徳教育に関する講演、講話、模擬授業などのご要望にもお応えします。
- ・若手教員への啓発活動
- ・学校経営や学級経営への助言

ご要望に応じたお手伝いをします。たとえば道徳科の研究授業を参観し、その後の研究協議会で助言を行います。その際、兵庫県内では兵庫県教育委員会及び県立総合教育センターの方針に沿った支援を行います。県外での場合も、各地の教育委員会等の指導方針に沿って支援します。

道徳教育に関する指導案作成や校内研修などの相談（随時、オンライン可）

- ・日々の授業の指導案作成のための支援のみならず研究会などのための指導案作成の支援
- ・校内研修プランの提供

指定を受けて学校単位で研究に取り組むような場合の校内研修のプラン作成にも協力します。



### 道徳科の「授業づくり講座」、「教材づくり講座」などの開講

- ・現場の先生方の課題意識に対応し、先生方が「悩みから希望を見いだせる」ようになることを目指した支援
- ・道徳教育の本質を解明し、先生方が「自信をもって授業を行える」ようになることを目指した支援
- ・「考える楽しさを実感できる」授業づくり・教材づくりのための支援
- ・毎年、兵庫県内外で複数回開講する予定



授業づくり講座（於 兵庫県立歴史博物館）

### 「道徳教育フォーラム」開催

- ・子どもが変わる道徳教育・授業の解明を目指すフォーラム  
たとえば子どもが「考える楽しさ」を感じられる道徳科の授業とは、どんな授業か。そのために教師はどのように子どもと向き合い、教材に取り組めばよいのか。どうすればそれらを実践できるか。これらの問題を考えます。
- ・道徳科における「考える楽しさ」を通じて求めているもの/ことの追究  
本アカデミーは、このフォーラムを「創意工夫に富んだ授業実践に向けた支援の場であるとともに、そのための研修の在り方を解明する研究などを行い、道徳教育への取り組みを通して教師力育成を支援する場」であると位置付けています。
- ・毎年、冬期に本学において開催予定



第3回フォーラム（於ホテル北野プラザ六甲荘2026.214）

## 02 道徳科等における 実践・研修に関する アーカイブの構築・運営

### 授業プランに役立つ教材や資料、指導案などの収集・情報提供

- ・文部科学省資料（道徳教育アーカイブ）
- ・各教育委員会等の資料
- ・『初等教育資料』、『中等教育資料』など教育雑誌の記事
- ・各校の実践記録

### 授業の評価や改善に役立つ資料などの収集・情報提供

- ・上記資料のほか授業評価・改善に関する書籍・論文

### 校内研修会に向けた資料などの収集・情報提供

- ・教職員支援機構「道徳教育指導者養成研修」資料
- ・各教育委員会や各研修センターの研修資料
- ・各校の研修資料



## 03 道徳教育に関する 研究や教材開発

### 人材育成のためのカリキュラム開発

- ・「教師力育成を支援する拠点」を目指すというアカデミーの「目的」に沿った人材育成に関する研究  
教師とは何か、教師力とは何か、教師力が育成されるとはどういうことか、そのためにはどうすればいいか、などの問題の解明に努めます。
- ・特に若手教員の課題を明らかにした上での、その課題への対策の提案

### 海外の関係大学や実践校との交流や共同研究

- ・道徳教育に関する海外の文献を収集し、問題意識を共有できる教育機関等との交流
- ・主として英語圏の関係教育機関などをフィールドとして道徳教育に関する研究や実践の状況を調査するなど、それら機関との交流



【海外教育機関と交流 クライストチャーチにて】

# スタッフ紹介

専任教員 5 名、兼任教員 1 名、事務職員 1 名



前列左から谷田増幸所長、秋光恵子副学長、森山潤学長、今川美幸統括監督者  
（道徳教育研究開発センター長）、秋山博正所員、後列左から小野友康研究推進課長、  
那倉康知所員、檜本由広所員、三宅浩司所員、岡田雅弘所員

## 今川美幸〈統括監督者・准教授〉

道徳授業の醍醐味は、子ども一人ひとりに丁寧に向き合いながら、子どもたちとともに「どう生きるか」を真摯に考えられるところにあると感じています。そこには、考え方や感じ方の違いを認め合い、多様性を包摂しながら学びを紡いでいくという大切な価値があります。自分なりの価値観を育もうとする子どもたちの成長の「音」に耳を澄まし、その歩みをそっと待ちながら、深まりのある教育活動を創っていこうとする先生方とともに学んでいきたいと思ひます。

元兵庫県教育委員会事務局副課長、日本道徳教育方法学会評議員

## 秋山博正〈所員・特任教授〉

考える楽しさを実感できる授業って、ほんとうにあるんですね。子どもたちが、ものになりきってゾーンに入っている光景を目の当たりにしました。その学校では、先生方も学ぶことを楽しんでいらっしやるようでした。教材の読解、道徳的価値や内容項目の理解、発問と問い返しの工夫といった授業の基本、そして何よりも子どもたちと先生方との信頼関係が大切であるようです。そんな授業づくりのお役に立ちたいと願っています。

元教職員支援機構「道徳教育指導者養成研修」講師、日本道徳教育学会評議員

## 那倉康知〈所員・特任准教授〉

「心で見なくちゃ、ものごとは見えない。本当に大切なことは、目に見えないんだよ。」「星の王子さま」に登場するキツネの有名なセリフです。道徳が頭の中の半分以上を占めている私には、このセリフは道徳の時間のことを言っているように思えてなりません。心をはたかせて大切なことを見ようとする営みは、子どもたちにとってかけがえのない時間になることなのでしょう。道徳の時間が、このような時間となるよう皆さんと共に学んでいきたいと思ひます。

日本道徳教育学会近畿支部 副支部長

## 岡田雅弘〈所員・事務調整役〉

アカデミーの事務を担当します。長年、兵庫教育大学の事務に携わり、現在アカデミー事務室に勤務しています。道徳教育の研究等講師派遣の要望などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

## 谷田増幸〈所長・特任教授〉

みなさま、こんにちは。道徳科の授業ってなかなか奥が深いですね。難しいなあと思うときも、ワクワクドキドキする楽しさを感じるときもあります。また、ウーンと唸ってしまう瞬間やキラッと希望が見える瞬間もあります。教師は対話を重ねて子どもたちと人として繋がる瞬間を見つけようとしているのでしょうか。児童生徒と教師が自己（人間として）の生き方について共に考えられる時間と空間をいっしょにつくっていきたいと思ひます。

元文部科学省教科調査官（「道徳」、「倫理」）／現日本道徳教育方法学会会長等

## 檜本由広〈所員・特任准教授〉

心が動く学校でありたい。児童生徒には、喜ぶ、悲しむはもちろん、学びを実感する、失敗等に悩み迷う、他者（多様性）を尊重する、自己を見つめる、新たな憧れをもつ、自らの生き方に「問い」をもつ、……。それを包むのが教師の熱なのでしょう。

心が動く存在と熱のある教師が対話する。その先に見えるものの「……」を信じ、期待を寄せる。皆様の営みに参加し、ともに考えたいと願っています。

兵庫県教育委員会事務局勤務時には、兵庫版道徳教育副読本の作成に関わる。

## 三宅浩司〈所員・准教授〉

学びがいのある道徳授業を目指し、研究と実践を積み重ねてきました。愛媛県の公立小学校勤務時には、県内外の様々な道徳関連事業に携わらせていただいたり、現職派遣制度で兵庫教育大学大学院にて研究を深める機会をいただいたりしました。よりよい授業創りにゴールはないと思ひますが、その過程自体を教師が楽しみながら、教師と子どもが「共に考え、共に語り合う」、そんな道徳授業を皆様と創っていただけたいと思ひます。

日本道徳教育方法学会評議員、研究委員会委員、情報委員会委員等

# 上廣道徳教育アカデミーへの 講師派遣の依頼方法について

次のメール、または講師派遣依頼フォームのうちのいずれかの方法でお申し込みください。

お申し込みの際には、ご依頼内容を具体的にお書きください。また、派遣希望日は、できるだけ第3希望までお書きください。

## メールアドレス

兵庫教育大学 上廣道徳教育アカデミー  
E-mail : meacad-t@ml.hyogo-u.ac.jp

## 講師派遣 依頼フォーム

兵庫教育大学 道徳教育研究開発センター  
[上廣道徳教育アカデミー] 内の講師派遣依頼フォーム  
URL : [https://hyokyo-meacad.jp/request\\_form/](https://hyokyo-meacad.jp/request_form/)



依頼フォーム

## Q&A

Q1. 経費はどうなりますか。

A1. 謝金は不要です。兵庫県内への支援活動のための交通費も原則としてアカデミーが負担します。県外からのご依頼の場合の交通費や宿泊費については相談させていただきます。  
なお、依頼者が予算執行上の理由などにより経費を負担する必要がある場合、当方が謝金や経費を受け取ることは差し支えありません。

Q2. 依頼すると、依頼者に何か義務のようなことが生じますか。

A2. 何も生じません。ただし、支援活動の様子の撮影やアンケート調査へのご協力をお願いすることがあるかもしれません。その場合は、事前にご相談いたします。

Q3. 個人としてアカデミーに依頼や相談をすることはできますか。

A3. できます。まずはご依頼やご相談の内容をメールでアカデミー宛にお送りください。スタッフが対応いたします。内容によっては、お受けできない場合もあります。その場合は、お受けできない理由をお伝えします。

Q4. 依頼や相談できるのはどんなことですか。

A4. 主として道徳教育一般に関わることや学級経営に関わることです。なお、そのような相談であっても、依頼者の勤務校の校長が判断すべきであるような内容の相談に関しては対応できないことがあります。その場合も、対応できない理由をお伝えします。

お問い合わせ

兵庫教育大学 上廣道徳教育アカデミー

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 TEL 0795-44-2532

E-mail [meacad-t@ml.hyogo-u.ac.jp](mailto:meacad-t@ml.hyogo-u.ac.jp) Web サイト <https://www.hyogo-u.ac.jp/meacad/>

